

中間答申（素案）に対する審議会の意見等

1 基本理念

意見等	案への反映
○「元気なまちをみんなでつくる」という表現では、「自分のまちは自分でつくる」という気概が感じられない。「自分」が「みんな」とつくるといった意味合いを説明すべき	○解釈の中で説明を加える

2 将来像

意見等	案への反映
○現基本構想は概ね20年後を想定して定めたのであるから、将来像は今のままでもよいのではないか ○「いきいき暮らす」がよかった。「暮らし」が大切である。今のままがよい ○今の将来像が定着している ○今のままで十分 ○現基本構想を策定以降、区を取り巻く環境は著しく変化しているので、将来像も変えるべき	○概ね20年後を想定した現基本構想の折り返し点にあたり、これからの10年を見据えると、生産年齢人口の定住化を促進するために、「暮らしやすいまち」「住み続けたいまち」に加えて「訪れたいまち」「選ばれるまち」をめざす必要がある。板橋の宝である子どもたちの育成に全力を注ぎ、板橋らしい元気なまちをつくっていく、さらには、「ひと」「まち」「みらい」が輝いていて魅力あるまちであるという意味で、「未来をはぐくむ」「かがやく」という表現を現在の将来像に付け加える。「いきいき暮らす」ことができるまちは「未来をはぐくむ、かがやくまち」でもある
○「未来」がキーワードになっている ○「未来」に子どもたちのイメージを強く持たせるならば、「未来をつなぐ」がよい ○「つくる」「輝く」がよい ○「つなぐ」よりも「つくる」がよい。「人をはぐくむまち」を入れてほしい ○「つなぐ」「輝く」がよい ○「輝くまち」という抽象的な表現よりも「技術のまち」という具体的な言葉が望ましい	○「未来」は未来を担う子どもたちのためにというキーワードとして残す ○「かがやく」は産業だけでなく、「ひと」「まち」「みらい」のそれぞれがかがやき、3つの基本理念が貫かれたまちであることを説明に加える ○3つの基本理念のうち、「あたたかい気持で支えあう」まちを「未来をはぐくむ」で表現し、常に未来の世代へ新しい価値を生み出しているまちの状態を表す
○「誇れるまち」がよい ○「誇れる暮らし」を「緑と文化」の頭に付けてはどうか ○3つの基本理念のうち、「あたたかい気持で支えあう」を表しているのは「誇り」だと思う ○「未来をつくる緑と文化の誇れるまち」はできあがっているイメージがありよいと思う ○「誇れる」は何を誇るのか。自分たちのまちを愛するという追求するのであれば「愛着のあるまち」の方がストレートに伝わるのではないか	○「誇り」は、まちに対して区民が抱く内面の感情であり、将来像はまちの状態を表すこととしたい。将来にわたって誇りを持てるまちでありたい、さらには、板橋区で暮らすことや活動することに愛着を感じるまちであってほしいという願いが将来像に込められているということを解説に加える

3 政策分野別の「あるべき姿」

意見等	案への反映
○国は観光に力を入れていこうといっているのに、「9つのまちづくりビジョン」の中に「観光」が出てこない。入れるべきではないか	○産業分野の中で、「観光」が含まれていることがわかる表現に改める
○文化・スポーツ分野には、「芸術」も入れた方がよい	○文化・スポーツ分野の中で、「芸術」が含まれていることがわかる表現に改める
○産業分野だけ踏み込んだ記述になっている。他の分野でも、区の強みをもっと表現できないか	○「23 区内随一のベッド数を要する医療機関のストック」「区内6大学の知的財産・人材」「地域の課題に取り組む活発な地域団体の活動」「都心に短時間でアクセスできる鉄道路線」などの区の強みを活かした表現を各分野に盛り込む
○教育分野の中で、「特色ある学校づくり」があるべき姿なのか、現場の感覚からすると疑問	○「魅力ある学校づくり」に表現を改める

4 基本計画に盛り込むべき施策のあり方

(1) 政策分野別

意見等	案への反映
○すべての施策のあり方を実現できるとは思えない。すでに実施しているものと、これから新たにに取り組むものを分けてはどうか	○基本計画は総合計画としてすべての施策を体系づけるものであり総花的にならざるをえない。ご指摘の視点は、区が基本計画を策定していく作業の中で参考とすべき
○農業に関する施策のあり方で、「貴重な」は言い過ぎ。農の活かし方を記述してはどうか	○農の活用を盛り込む
○大学との連携にもっと触れるべき	○各分野において記述を盛り込む
○子育て分野の施策のあり方では、連携する主体の中に事業者・企業を入れるべき	○事業者・企業を加える
○ICTなど難しい表現が多い。もっとわかりやすくすべき	○注釈をつけるなど、わかりやすい表現に努める

(2) 施策横断的に取り組むべき戦略の必要性

意見等	案への反映
○「施策横断的に取り組むべき戦略の必要性」では、人口減少・超高齢社会が前提となっているが、あくまで推計であり、現在は新生児・子どもの人口は横ばいで減っていない。初めの4行を削除していただきたい。	○人口減少・超高齢社会は推計であるが、その対策を講じる必要がある。初めの4行については、基本構想の実現に向けて、施策・組織横断的に協働すべき戦略が必要であるとする表現に改める

(3) 基本計画を推進する区政経営のあり方

意見等	案への反映
<p>○基本計画を進めるために行財政改革を進めるというのでは、計画は立てたが財政が厳しいのでできないと言われるように感じる。公共事業や公共施設を縮小・統合していくことは、区民にとって「住みにくいまち」「住みたくないまち」につながるのでは。区民の暮らしも地域経済も区財政も活気があり、すべてが好循環するいたばしを築く、そのために国・都の補助金や、基金の適正かつ効果的な活用を行う。</p>	<p>○冒頭部分に、「安心して豊かな区民の暮らしと地域経済が活性化するまちづくりを進めることによって、基本構想で定める将来像と政策分野別のあるべき姿の実現をめざす」という文章を追加する</p>
<p>○「さらには人口減少社会において選ばれるまちであるために…」という表現があるが、現在住んでいる区民の暮らしを守り、一人ひとりの声を大切に、地方自治体として住民福祉の向上を最優先で行っていくことこそが不可欠。その結果として、「選ばれる」ことにつながるのではないか。あえて「選ばれるまちであるために」という表現は必要ないと思う</p>	<p>○ご指摘の部分を削除する</p>
<p>○「区役所の人づくり・組織づくり」の部分について、民間企業のような利益のための人づくりに思えて仕方がない。憲法第15条にあるように、区職員は全体の奉仕者であることを基本に、住民の福祉の向上をめざすという姿勢を大切にしていきたい。</p>	<p>○「全体の奉仕者として住民福祉の向上をめざす」という表現を加える</p>
<p>○「現在の区民の暮らしが見えること、その改善のために基本構想、基本計画を策定し、この計画の推進によって、区民の福祉の向上を図っていくことが自治体としての発展につながっていく」という流れであれば理解できる</p>	<p>○安心して豊かな区民の暮らしと地域経済が活性化するまちづくりを進めることによって、基本構想の実現をめざすこと、そのために、真に必要な行政サービスを確保し住民福祉の向上を図りつつ、3つの経営の視座のもと持続可能な発展をめざしていく、という流れに改める</p>

※ (2)・(3)の意見については両論併記を検討してもらいたいとのことであったが、起草委員会で検討した結果、上記のとおり案へ反映させることによって、審議会答申を一つにまとめることができるのではないかと考えたところである。